

準用河川恩曾川洪水浸水想定区域図

【浸水継続時間(想定最大規模)80分総雨量179.6mm】③

1 概要

想定し得る最大規模の降雨があった場合の浸水継続時間を表示した図面です。

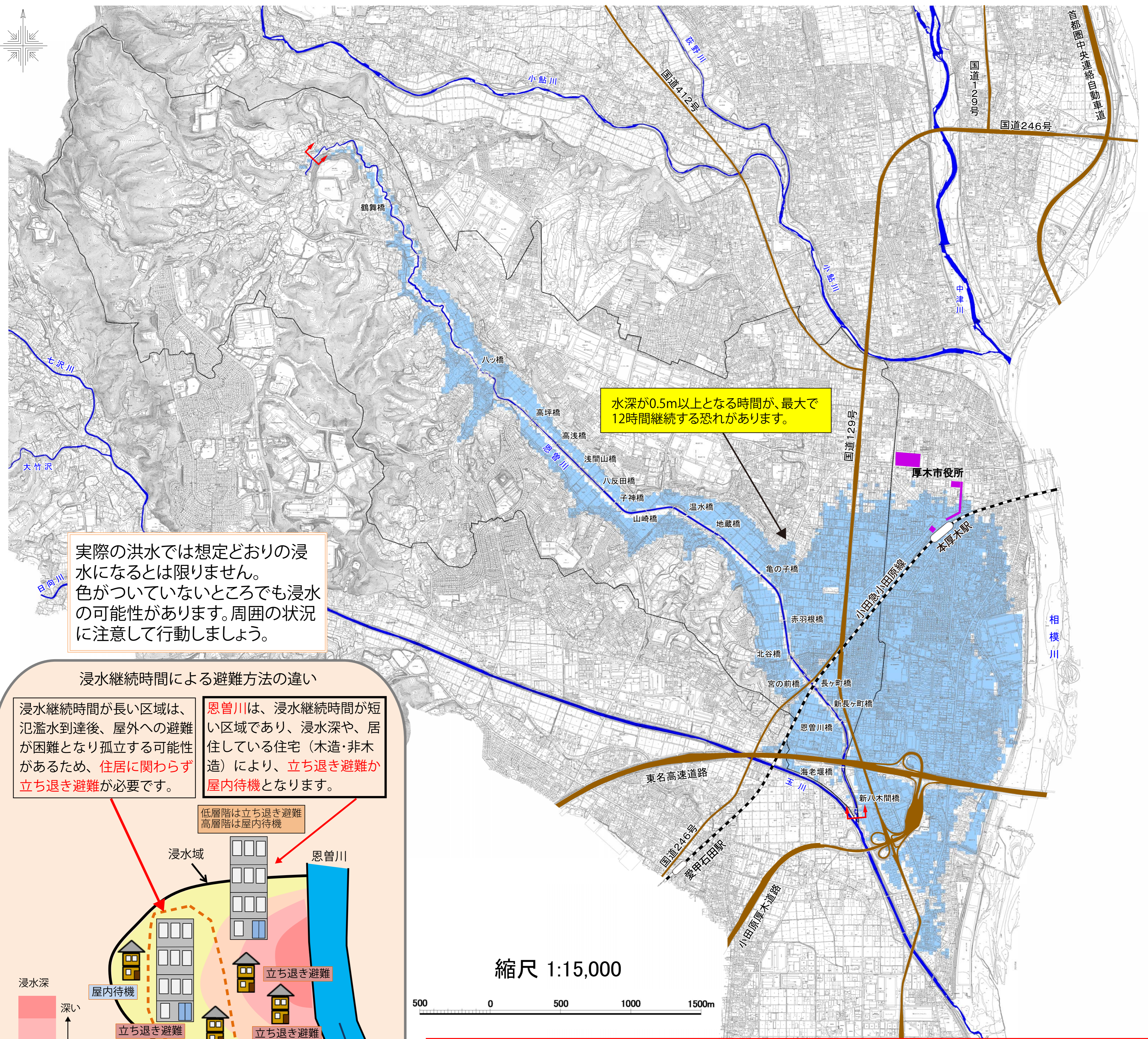
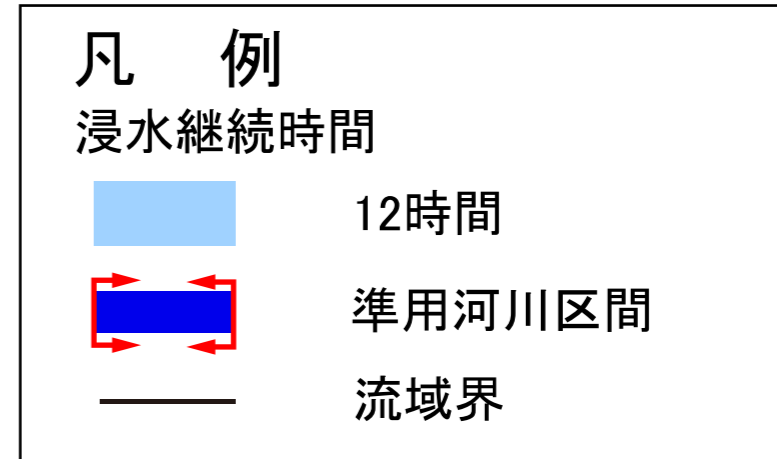
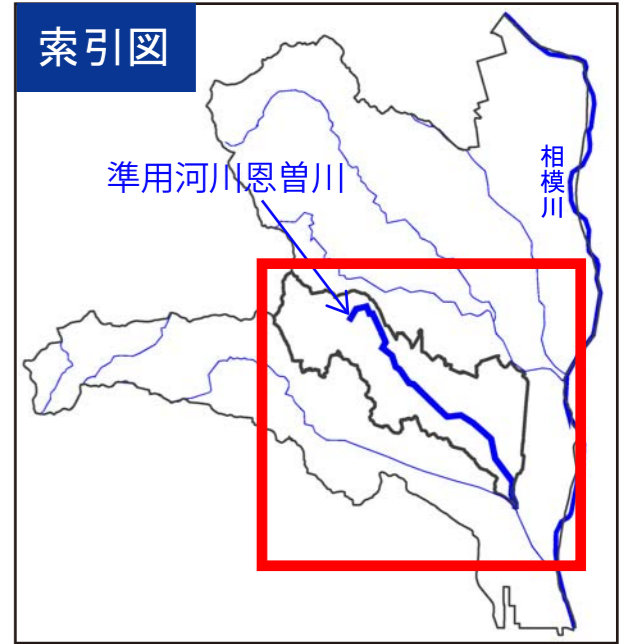
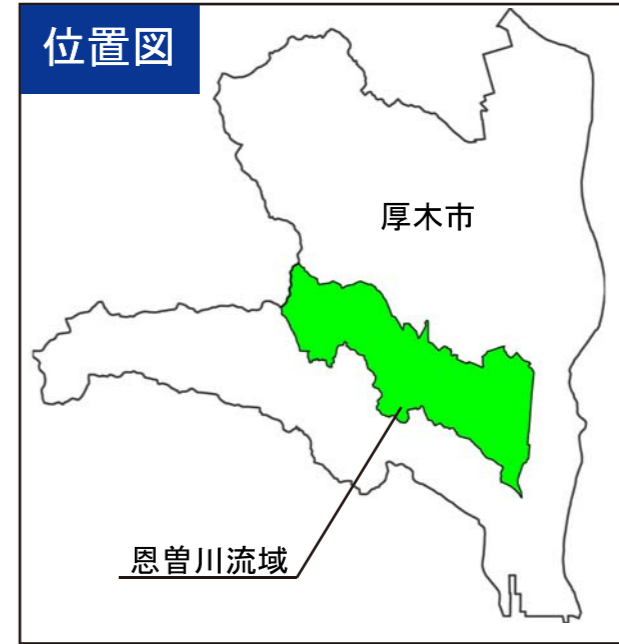
氾濫水が到達後、屋外への避難が困難となり孤立する可能性のある浸水深である0.5mに達してから、その水深を下回るまでにかかる時間を示すものです。

想定最大規模降雨とは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」より算出し、80分の総雨量として179.6mmの雨が降ることを想定しております。

2 基本事項

(1)作成 平成29年5月

(2)対象となる河川 準用河川恩曾川 上流端:市道川との合流点 下流端:玉川との合流点



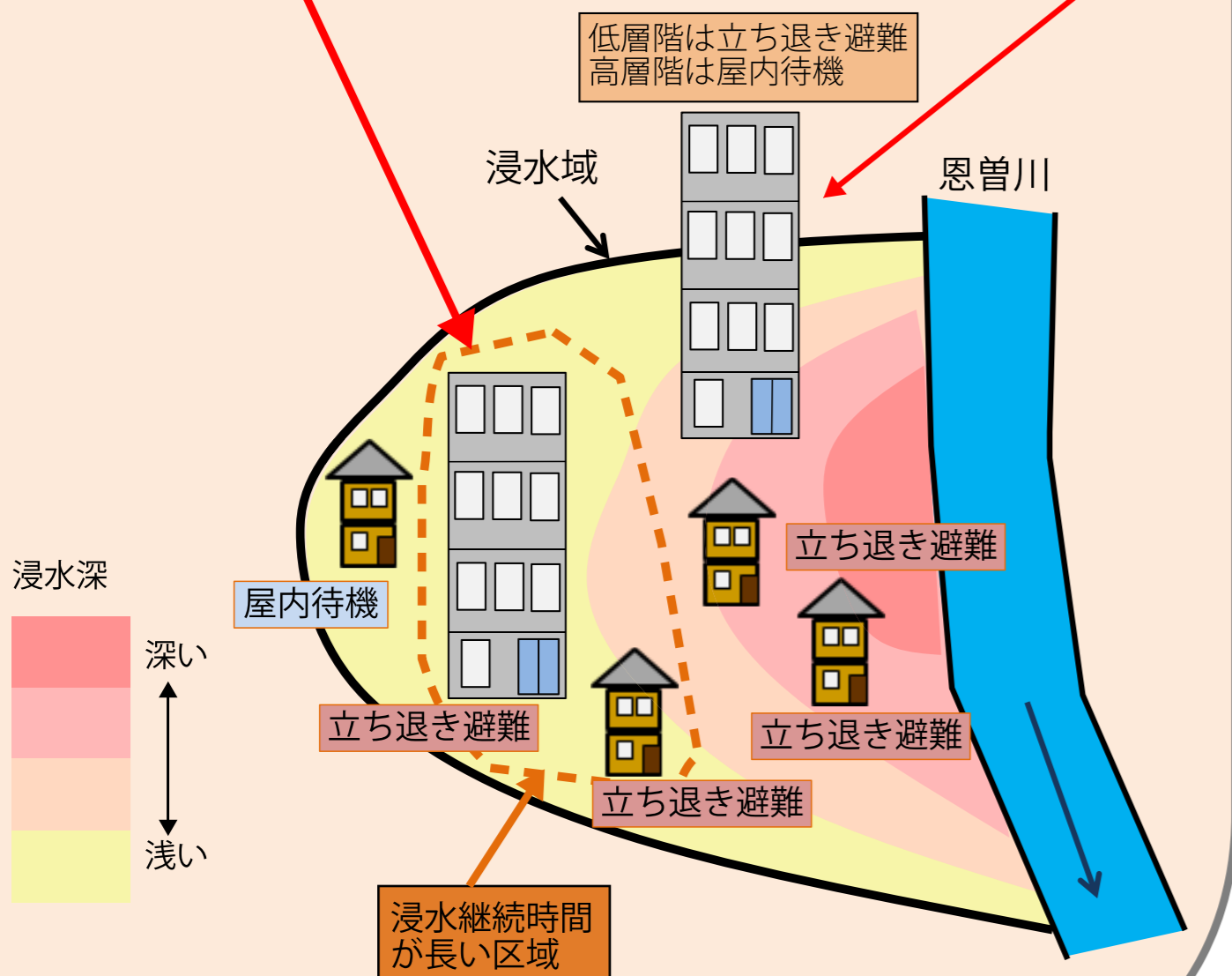
水深が0.5m以上となる時間が、最大で12時間継続する恐れがあります。

実際の洪水では想定どおりの浸水になるとは限りません。色がついていないところでも浸水の可能性があります。周囲の状況に注意して行動しましょう。

浸水継続時間による避難方法の違い

浸水継続時間が長い区域は、氾濫水到達後、屋外への避難が困難となり孤立する可能性があるため、**住居に関わらず立ち退き避難**が必要です。

恩曾川は、浸水継続時間が短い区域であり、浸水深や、居住している住宅(木造・非木造)により、**立ち退き避難か屋内待機**となります。



縮尺 1:15,000

500 0 500 1000 1500m

気象情報や周りの状況などに注意して、浸水する前に早めに行動してください。浸水した後の避難は大変危険です。ご自宅の造り(木造・非木造)やお住まいの階数、ご自宅の位置と浸水の程度を確認して行動してください。

ご自分の地域やご自宅付近で、どの程度の浸水継続時間になるか、この洪水浸水想定区域図で確認してください。